

▲県庁舎新築 昭和11年(1936年)3月に、失火により全焼した後、約2年をかけ新庁舎が完成しました。設計者は早稲田大学の佐藤功教授。鉄筋コンクリート4階建ての堂々たるゴシック建築でした。



120年の歴史

4

このコーナーでは、宇都宮の120年の歩みを年表と写真で紹介します。

昭和3~13年



▲宇都宮常設球場 現在の宮の原小学校の場所に開設されました。いつでも野球ができる専用の観客席(収容2万人)を備えるグラウンドで、球場開きには「早慶戦」が開かれました。写真は、昭和14年(1939年)男子中学校生徒体育大会のものです。

西暦年	主な出来事
1928 3	△小学校で初の鉄筋コンクリート造りである今泉小学校が創立
1931 6	△東武鉄道宇都宮線が開通
1932 7	△宇都宮常設野球場が開設
1936 11	△旭町の大ケヤキが天然記念物に指定される
1938 13	▽県庁舎が新築される



◀東武鉄道宇都宮線が開通
東武宇都宮駅は西原町(現・明保町)へ移転した宇都宮監獄所(刑務所)跡地に開設されました。ターミナル駅として本市の西の玄関口の役割りを持ち、駅周辺には「新馬場」と称する新しい商店街が形成されました。

昭和